

湖沼の環境問題について考える21世紀最初の国際会議 第9回 世界湖沼会議

9th International Conference on the Conservation and Management of Lakes

2001年11月、みんなの想いを滋賀県から世界へ!!

世界湖沼会議は、湖沼の環境問題の解決のためには、研究者・行政・市民が手を携えて取り組まなければならないという考えのもとに1984年に滋賀県で初めて開催された国際会議です。それから17年の間に世界各地で8回の会議が開かれ、今年11月に「里帰り会議」として再び滋賀の地で開催されることとなりました。

第9回世界湖沼会議では、20世紀に解決できなかった湖沼をめぐるさまざまな環境問題について率直に意見交換するとともに、問題解決に向けた地域間・分野間のパートナーシップを深め、環境の世紀に相応しい新しいライフスタイルのあり方を構築していくための出発点となることを目指しています。



テーマ 湖沼をめぐる命といたのみへのパートナーシップ～地球淡水資源の保全と回復の実現にむけて～

会期 2001年11月11日(日)～16日(金)

会場 びわ湖ホール、大津プリンスホテル
(滋賀県大津市)

公用語 日本語及び英語(同時通訳あり)

主催 滋賀県、(財)国際湖沼環境委員会

共催 国土交通省、厚生労働省、環境省、水資源開発公団、大津市

日程

11/10(土)	琵琶湖視察・エコテクニカルツアー
11/11(日)	琵琶湖視察・エコテクニカルツアー／登録受け付け開始
11/12(月)	開会式／全体会議 / 琵琶湖セッション
11/13(火)	琵琶湖セッション／分科会／ワークショップ
11/14(水)	分科会／ワークショップ
11/15(木)	分科会／ワークショップ
11/16(金)	全体会議 / 閉会式

分科会構成

第1分科会 文化と産業の歩み
- 環境共生のライフスタイルを考える -

第2分科会 環境教育の新たな展開
- 学んで・知らせて・共に活動する -

第3分科会 飲み水と汚染
- きれいで安全な水を創る -

第4分科会 水辺の生態系とくらし
- 壊れやすい水と陸の接点(エコトーン)をどのようにするか -

第5分科会 循環する水

- 流域で共存する人と自然 -

全体会議 では、世界水パートナーシップ代表のM. C. カールソン氏、国連大学高等研究所長のA. H. ザクリ氏および琵琶湖博物館長の川那部浩哉氏による基調講演を予定。

参加登録料

参加は有料で、事前登録制(締切:10月20日(土))です。参加登録は、会議の全日程に参加できる「通常登録」と1日毎に参加できる「1日登録」があります。

	通常登録	1日登録
一般登録	20,000円	3,000円
学生登録	15,000円	1,500円

1日登録の方は、発表文集と発表文概要版は別売購入となります。

琵琶湖視察・エコテクニカルツアーへの参加には、別途参加料が必要です。

締切以降の登録も受け付けますが、この場合には、会場の都合により会議への参加が制約されることがあります。

お問い合わせ

第9回世界湖沼会議実行委員会事務局
(滋賀県琵琶湖環境部環境政策課内)

〒520-8577 滋賀県大津市京町4丁目1-1

Tel. 077-528-3466

Fax. 077-528-4849

E-mail: info@biwako2001.com

URL: http://www.biwako2001.com/